

第17回 日本視機能看護学会会員情報交換会セミナー交流会報告

■テーマ：

「退院支援を含めた多職種連携と困難事例に対する対応」

■日時：2023年7月8日（土）14：00～15：30

■参加人数：17施設20名（日本視機能看護学会役員含む）

■講師：永沼加代子先生（医療法人社団済安堂 井上眼科病院 医療ソーシャルワーカー）

■座長：大音清香（日本視機能看護学会名誉理事長）



今回は井上眼科病院医療ソーシャルワーカーの永沼加代子先生にご講演をお願いし、退院支援を含めた多職種連携と困難事例に対する対応について、具体的な事例を踏まえご教授を頂きました。

参加申し込みの際に、先生にご相談したい内容や事例について頂いたご意見を永沼先生と共有し、ご講演後のディスカッションの際に、ご提示された方に対して、支援に必要な追加情報を確認して頂きながら、個別性を考慮した支援方法についてアドバイスを頂く事で、他の参加者の皆様にもイメージしやすく、大変有意義な時間でした。

先生よりアドバイスを頂く中で、看護師として患者さんに寄り添い、患者さんの情報をしっかり聞きながら対応している事が重要であること、実際の支援方法は課題により違い、支援者も沢山の窓口があるので、多職種や地域と連携を取りながら任せていく事も大切であるという事をご教授頂き、看護師の役割について改めて考えていく事ができました。

先生からのお言葉で、バーンアウトしないようにというメッセージを頂き、継続的にこの課題に取り組み続けていくためのそれぞれの施設での看護師としての役割について、多職種との連携も含め考えていく事が大切であるとあらためて感じました。

今後も患者さんの抱えている問題について、社会福祉制度を含めた地域連携や退院支援を含め意見交換会を継続していきたいと考えております。